

～軽井沢町の“今”を伝える情報紙～

ボランティア情報

2014年
11・12月

発行 軽井沢町ボランティアセンター
〒389-0111 軽井沢町大字長倉 4844-1 木もれ陽の里
電話 45-8113 FAX 46-2116

http://www.ktvc.jp Email karu-vc@eco.ocn.ne.jp

平成26年度 災害ボランティア活動フォーラムが開催されます!

～災害ソーシャルワークの展開～

近年増え続ける自然災害等に我々が備えておくべきことは？

今回のフォーラムでは、災害時に実際に避難者を受入れる可能性のある施設スタッフや災害ボランティアセンター等で、運営に携わることとなった場合の支援方法などを想定した研修と、併せて地域で暮らす障がいをお持ちの方から見た「避難」という視点に基づいたワークショップ等を通じて一緒に考え、誰もが住み慣れた地域で暮らし続けることのできる町を目指し開催します。

- | | |
|-----|--|
| 日時 | 平成26年11月16日(日) 午後1時30分～午後4時30分 |
| 会場 | 保健福祉複合施設 木もれ陽の里 会議室1・コミュニケーションホール |
| 主催 | 軽井沢町社会福祉協議会 軽井沢町ボランティアセンター |
| 共催 | 長野県社会福祉協議会 |
| 後援 | 軽井沢町聴覚障がいの会・軽井沢町身体障害者福祉協会・軽井沢町ひとりぐらしの会・S.L.C手のひらの会・軽井沢手話サークル・点字サークルてんまり |
| 内容 | 基調講演
「災害発生から生活支援を見つめて～災害経験は地域・人を強くする～」(全体)
① 講師：NPO法人ローカルコミュニティ 代表理事 高田克彦 さん
ワークショップ「地域、施設を取り巻く強み・弱みに気づく」(専門職向け)
② 講師：軽井沢町聴覚障がいの会
ワークショップ&ミニ講演「障がい者から見た地域とは？」(一般向け) |
| 対象 | 町内福祉施設職員・行政関係者・地区社協関係者・区長及び区役員
自主防災組織関係者・軽井沢青年会議所・ボランティア・地域活動関係者
民生福祉委員・当事者団体関係者 他 本企画に興味関心のある方々 |
| 申込先 | 別紙申込書に必要事項を記入のうえ軽井沢町ボランティアセンターへ
直接お電話でお申込ください。(45-8113) |
| 締切 | 11月7日(金)まで |
| 費用 | 無料 |



佐久地区ボランティア・地域活動フォーラム

～自分・そして身の周りの人を守るには?～ in 佐久市が開催されます！

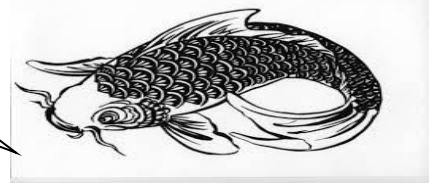
- (日時) 平成26年12月14日(日) 12時受付開始/12時30分開会 16時終了
(会場) 佐久市白田総合福祉センター あいとびあ白田(佐久市下越16-5) 0267-81-5555
(内容) オープニングセシモニー 佐久ろうあ太鼓の演奏
基調講演:「災害が発生したとき どう地域で支え合うか」
講師:群馬県前橋市社会福祉協議会 ボランティアセンター主任 高山弘毅さん
分科会
① 赤十字活動から学ぼう!身の回りのアイテムを使用した災害準備品づくり
② 避難所運営ゲーム「HUG」の体験
③ 障がい者から見た避難とは?災害時の障がい者支援について考えよう
(主催) 第32回佐久地区ボランティア・地域活動フォーラム実行委員会
佐久ブロック社会福祉協議会
(申込) 軽井沢町社会福祉協議会(45-8113) 11月21日(金)までにお申し込みください
(費用) 無料

全ての人に心地よい…

避難所体験



ボランティアの
登竜門です!



妊産婦、乳幼児から高齢者の方、地域にお住まいの全ての人に心地よい避難所って?避難者の立場になってもしもの時の備えを考えてみませんか?

(日時・内容) 平成26年11月7日(金) 13時~16時 定員30名

「実際の避難所を企画する」

平成26年11月24日(月) 12時50分~14時20分 定員100名

「避難所を運営してみよう!」「避難所運営の課題を振り返る」

(会場) 長野大学(上田市下之郷658-1)

(講師) 石井布紀子さん(NPO法人さくらネット代表理事)

(対象) どなたでも参加できます (主催) 長野県男女共同参画センター「あいとびあ」

(申込) 軽井沢町ボランティアセンター(45-8113)まで直接ご連絡ください

(締切) 11月7日まで

こんなことしてます!運営委員会

ボランティアセンターにはセンターの運営と活動基盤を強化していくための委員さんが8名在籍しています。そこでどんな内容が話し合われているのかお伝えしていきます。

(開催日) 平成26年10月7日(火) ~第4回~

—(要旨)—ちいき活動みほん市の開催に向けて

*5回目を迎えるみほん市。みほん市は豊かな人間関係や絆で包み込まれる町を作り上げていくための一つの「手段」であることを確認。その企画内容を協議しました。

- ① 開催時期を27年3月初頭に設定
- ② 内容は去年の計画を基盤に。本企画の理解者を増やすことに力を注ぐ
- ③ 町内のあらゆる活動グループに対してアピールしていく。
- ④ 町づくり委員会の皆さんにもみほん市の趣旨や意向を伝えよう
- ⑤ 改めて町づくりには様々なセクターの関わりが必要。我々は人の交流とコミュニティの生れ出る「場」を拠点とした活動を計画して行こう。

NPO 法人設立講座の受講者募集

NPO 法人を立ち上げたい！ 設立の手順は？ どんな活動だと認められるの？
そんな疑問に県の担当者がお答えします。 市民活動をこれから始めようと考えている
方、女性グループの方お気軽にご相談ください。

対象者：NPO 法人を立ち上げて社会貢献活動をしたい方

日 程：平成 26 年 11 月 19 日（水） 佐久合同庁舎（佐久市跡部 65-1） 5 階共催ホール

- ・市民による社会貢献活動
- ・NPO 法の趣旨説明
- ・NPO 法人設立、運営上の留意事項等

申込締切：11 月 14 日（金）

申込方法：県民協働課 026-235-7189 Email kyodo-npo@pref.nagano.lg.jp

昭和 20 年 5 月 1 日に満洲へ向かう信州の開拓団。何故、敗戦まぢかに行ったのか？…
テレビ・新聞で話題になっている映画完成！



と き 2014 年 11 月 29 日（土） 13:30～

（受付開始 12:30～）

ところ 軽井沢中央公民館（製作協力券でも入場できます）

主 催 軽井沢日本中国友好協会

問合せ 事務局 山岸さん（090-1540-7015）

県下初の
上映決定！



知ってる！？ 意外と知らない“あれ・それ”

* 「ボランティアの公共性」って？

無償・自発的・手弁当といわれる「ボランティア活動」は、奉仕活動と考え方も取り組み内容も違います。奉仕とは「奉り仕える」と書きます。誰かの命に応じてやりたくないことも取り組まなければならないという表現です。アメリカでは、刑事罰の代償に社会奉仕活動 20 時間という刑が科せられる場合もあります。

では、ボランティアとは？世のため人のために自分の時間と知恵や仲間を募って取り組む活動なのですが、それが、自分たちの枠組みを超えて、地域のため、町のため、児童生徒のため、高齢者のための支援活動ややりがい、生きがいを引き出す行動に結びついているかどうかが問題なのです。自己満足しているだけではボランティアとは呼べない、ある種の自己完結は場合によっては望ましいことなのですが、広域的に誰かの役に立っている、支えられているという実感が双方に無いとならないのです。

《シリーズ》 ボランティアってこんなこと！？



ボランティアセンター運営委員会でも良く話題になりますが、「ボランティア」という言葉は、市民権を得た言葉だと。しかしそのボランティアという「考え方」には市民権がまだ与えられていないではないか？ということなのです。それは、未だに多くの方々が、ボランティア活動を「時間や資金、生活に余裕のある人たちの特別な活動」と思っていることがその代表でもあります。

本当にそうでしょうか…。お金があっても、時間があっても行動しない人、関心のない人は沢山います。安定した生活を手に入れたからと言ってボランティア活動に意識が向くというのは、返ってその対象者に対して重荷になるだけ。

では？どうすれば？ 自発的とは「抑えきれない思い」です。例えば、公園近くで大規模な工事が行われていて、公園で遊ぶ子供たちを交通事故から守らないといけない「焦り」だったり、高齢者の不当な扱いに対する「怒り」だったり、震災の復興に努力する被災者たちへの「共感」だったりします。

こうした「思い」から人は「行動」に移ります。「抑えきれない思い」を感じたらどうするか？ そこからがボランティアセンターの出番！なのです！

さて、今回もボランティアとは

恋愛のようなものと話す早瀬さんの言葉をお借りします。

-恋愛もボランティアも「好き」であることが選択の重要な基準となる-
嫌いな活動を嫌々やっていることは、対象に対しても良い結果を運んでこないでしょう。

「好き」だから続けし、止める時別れる時が「辛く、悲しい」のですよね。

大きく構えず、日々の暮らしの中で「好き」なことに精一杯取り組んでみると意外な世界が見えてくるかもしれませんね。

それは、価値観・仲間・ジョウホウ・モノ・人生観・自然・社会・ご近所・食べ物・動物・社会問題・国内情勢・カネ・自分自身の本当の姿 etc.

わくわくしてきたらあなたももう「ボランティア」さんですね。

最後までお読みくださりありがとうございました。次回は27年1月に発行です。